

## 上棟式 住職あいさつ

本日は、御多忙の中、当山の上棟式に御参列、ご焼香賜り誠にありがとうございます。

ここ数日、雨が降ったりやんだり为天候の中、本堂建設予定地での法要が心配されましたが、御本寺国吉田桃原寺方丈様をはじめ、ご縁の深い御寺院方丈様方に御随喜賜り、上棟の為の仏事法要を無事行う事ができました。

ありがとうございます

また、本日の上棟を迎えるまで、東光寺の建設委員様、菅野企画設計様、飛鳥工務店様の宮大工の皆様の大なご尽力ご協力をいただき、更に東光寺檀信徒の皆様、ご近所の皆様のご理解ご協力のおかげで、本日の上棟式を迎えることができました。

誠にありがとうございます。

啓白文でも申した通り、旧本堂と山門は、当山が明治時代の今から百四十年程までに曹洞宗の寺院として法地開山した際に建立され、これまで檀信徒の皆様、地域住民の皆様を見守り、教化する仏道の殿堂として、発展してきました。

これまでも歴代住職、檀家様のご先祖様方のご尽力で幾たびかの改修、増築を行って参りましたが、この度、年月とともに朽廃し手狭にもなつたため、これからの山門の未来を考えるにあたり、八十二畳の広い本堂、空調、床暖房、車椅子の方もお参りできるスロープ等を完備した利便性と、匠の技が凝縮された伝統的な入母屋二重屋根の木造本堂として生まれ変わろうとしています。

棟札には「現世安穩 後生善処」「福寿海無量 慈眼視衆生」ということばを入れさせていただきました。

現世が安全で穏やかに暮らすことができ、後生は善処に暮らし進むことができるように願い、その為に新しい本堂は、檀信徒の皆様や地域の皆様が集い、集った方々が本尊延命地藏菩薩様のご功德のごとく、大いなる海のような無限の福德を恵むような人生が歩めるように、慈しみの心と悲しみの心を持ち、正しい眼で衆生をみつめることができるようになる学びと和合の場、幸多き人生を生む殿堂にしたいという誓いを込めさせていただきます。

皆様には、来年二月の竣工、四月の落慶式に向けて、今後とも、山門繁栄の為にご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございます。